

デュッセルドルフ日本人学校

ドイツ中西部にあるデュッセルドルフ市。ヴェストファーレン州の州都であり、ルール工業地帯の交通拠点であるこの地には約540社の日本企業が拠点を構え、およそ66500人の日本人が居住しています。日本人の数はヨーロッパで3番目です。毎年5月に開催される欧州最大規模の「Japan-Tag(日本デー)」には国内外から60万人とも70万人ともいわれる多くの人々が集い、日本のアニメやコスプレ、日本文化や日本食を楽しむことができます。毎年デュッセルドルフ日本人学校の児童生徒は、ウィンドアンサンブル部や合唱部、和太鼓の演奏、また、国際交流委員会を中心に折り紙ワークショップで祭典を盛り上げます。

本校は小中併設校で、約470名の児童生徒が登校しており、毎週土曜日には約200名の補習校の児童生徒が日本語を学びにやってきます。補習校と合同で開催



【合唱部 Japan-Tag(日本デー)出演】



【小学部2年 エスプリアリーナ見学】

子どもたちが本校での豊かな海外経験を通して、将来、日本とドイツをはじめ外国とのかけ橋になってくれることを願い、児童生徒、教職員一同充実した楽しい毎日を過ごしています。

される6月の運動会は、紅白に分かれての競技や応援合戦を多くの保護者や地域の方々が楽しみにしてくださっています。9月の学校祭は、各学年が工夫を凝らした劇や和太鼓、合唱・合奏などのステージ発表と美術・図工や家庭科、書写などの展示発表があり、補習校や現地校の児童生徒の作品も展示され見所が盛りだくさんです。

さらに、ドイツにあることの特性を生かした教育活動の一例として、小学部2年生はエスプリアリーナ見学やブンデスリーガーフォルトナの選手との交流、小学部3年生は現地校の児童との和太鼓演奏、日本の遊びを伝える交流など、各学年ドイツ語や英語教育を充実させた国際理解教育を行っています。



【小学部3年 現地校との交流】